

平成 29 年度  
(2017 年度)

## 標準化活動報告書

平成 30 年 5 月

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会  
(JBMIA)  
標準化センター

## はじめに

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（以下、JBMIA）の標準化活動に関する、標準化センター「平成 29 年度（2017 年度）標準化活動報告書」を発行いたします。

平成 29 年度は、従来の標準化センターにおける各プロジェクトの活動体制を継続しつつ、標準化会議を中心に具体的な活動を進めているアクセシビリティ・UI デザイン・カラーマネジメントの各標準化プロジェクトの活動推進とステアリングを行ってきました。さらには協会標準（JBMS）の維持管理の効率運営を行うとともに、会員各社の事業に対する支援として、今後取り組むべき新規標準化テーマや、活動活性化の検討をして参りました。特に、新たな取り組みとして「紙評価標準化 WG」が新設され、平成 30 年度より始動すること、オフィスにおける機器・サービス利用に関する独自調査を終え、テーマ候補案の具体化に向けて示唆を得るなどの進展がみられたことは、本年度のトピックであります。併せて、JBMIA が関連する JIS 原案作成活動を推進してきております。

本報告書をご高覧いただき、JBMIA 及び標準化センターでの標準化活動に対して皆様の忌憚のないご意見を伺うことができれば幸いです。

標準化センター センター長  
勅使川原 亨

## 目次

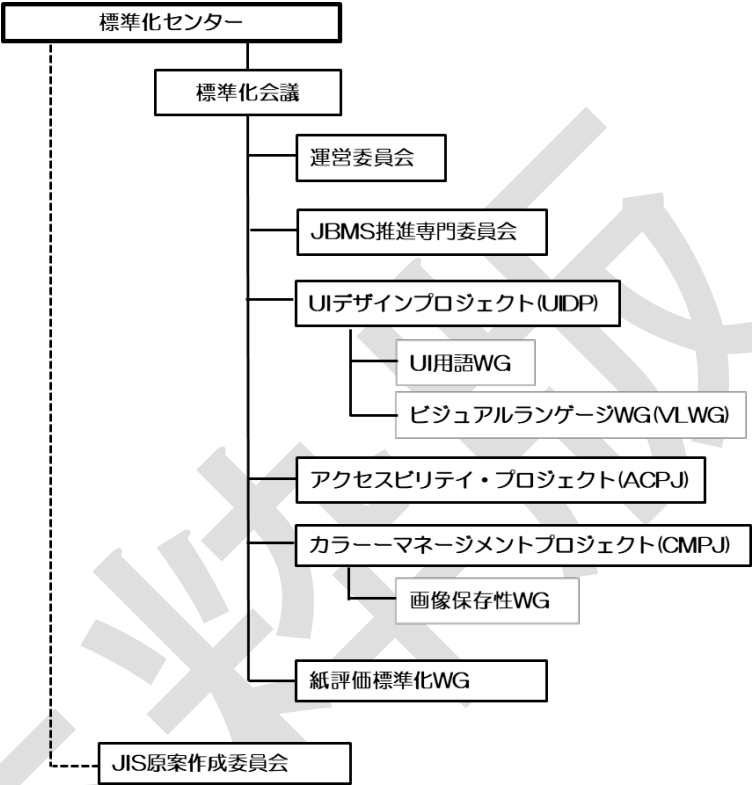
1	標準化センターの機能と役割	4
1.1	標準化センター	4
1.2	JIS 原案作成委員会	5
2	標準化センターの活動概況	6
2.1	標準化会議	6
2.2	運営委員会	6
2.3	JBMS 推進専門委員会	7
2.4	ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト (UIDP)	8
2.5	アクセシビリティ・プロジェクト (ACPJ)	9
2.6	カラーマネジメント・プロジェクト (CMP)	10
2.7	JIS 原案作成委員会	11
3	ISO 情報技術国内委員会の活動概況	11
3.1	JTC1/SC17 関連	11
3.2	JTC1/SC28 関連	14
3.3	JTC1/SC35 関連	16
4	他の委員会・部会の標準化活動	17
4.1	中国標準化対応検討会	17
4.2	技術委員会 安全専門委員会 CE の安全対策 WG	18
4.3	プリンタ・複合機部会/標準化分科会	19
4.4	データプロジェクター部会	21
4.5.1	環境委員会/製品環境専門委員会/エミッション評価法検討 WG	22
4.5.2	環境委員会/製品環境専門委員会/騒音規格検討 WG	23
附属書 A	JIS 制定・改正実績	25
附属書 B	JBMS 制定・改正実績	27
附属書 C	TR 制定・改正実績	31
附属書 D	2016 年度 JBMS・TR 5 年見直し結果	33

# 1 標準化センターの機能と役割

## 1.1 標準化センター

ビジネス機械分野の、標準化に係わる会員企業に共通する課題の改善・解決にむけた活動を実施する。

1. ビジネス機械分野の国際標準化活動における我が国の主導権の確保に努める。
2. JBMIA 内の標準化活動の統合と連携を進める。



標準化センターの組織

参加企業・登録委員  委員会・部会 参加人数	登録委員											登録委員(オブザーバー)							
	キヤノン	京セラドキュメントソリューションズ	コニカミノルタ	シャープ	セイコーエプソン	東芝テック	富士ゼロックス	ブラザー工業	リコー	理想科学工業	JBMIA	セイコーエプソン	村田機械	富士ゼロックス	リコー	新潟大学	住友理工	王子製紙	ISID
標準化会議	2	1	1	1	1	1	4	1	3	1	4			1	1				
運営委員会	1		1			1	3		3					2	1				
JBMS推進専門委員会	1		1				1		1										
UIデザインプロジェクト	1		1	1		1	1	1	1										
UI用語WG	1	1	1	1		1	1		1			2			1				
ビジュアルランゲージWG	1	1	2	1			1		1			1	1		1				
アクセシビリティ・プロジェクト	2	1	1	2	1	2	2	1	1										
カラーマネージメントプロジェクト		1	1	1	1	1	2	2	2										
画像保存性WG	3		1				1	1	2					1					
紙評価標準化WG	1	1	1	1		1	1		1	1						2	1	1	2

登録企業と委員数

#### 1.1.1 標準化会議

- ・ 年度方針、予算案を策定する。
- ・ 既存プロジェクト活動を円滑に推進する。

#### 1.1.2 運営委員会

- ・ 年度の事業計画案を策定する。
- ・ 活動活性化のための新規テーマを探る。

#### 1.1.3 JBMS 推進専門委員会

- ・ JBMS（協会規格）及び JBMIA-TR（協会テクニカルレポート）の制定・改正・定期見直し結果を審議し、公開と管理を行う。
- ・ JBMS・JBMIA-TR の英語併記を継続し、その普及に努める。

#### 1.1.4 ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト（UIDP）

- ・ JBMS-83（複写機・複合機の図記号）の国際標準化を検討する。
- ・ UI 用語の標準化候補の抽出とユーザー調査を実施する。

#### 1.1.5 アクセシビリティ・プロジェクト（ACPJ）

- ・ 事務機器の情報アクセシビリティ向上に関する ISO/IEC 10779（高齢者及び障害者のための事務機器の使いやすさの指針）の改定を進める。
- ・ 国内で検討しているアクセシビリティ関連規格（人間工学関連など多数）を支援する。

#### 1.1.6 カラーマネジメント・プロジェクト（CMPJ）

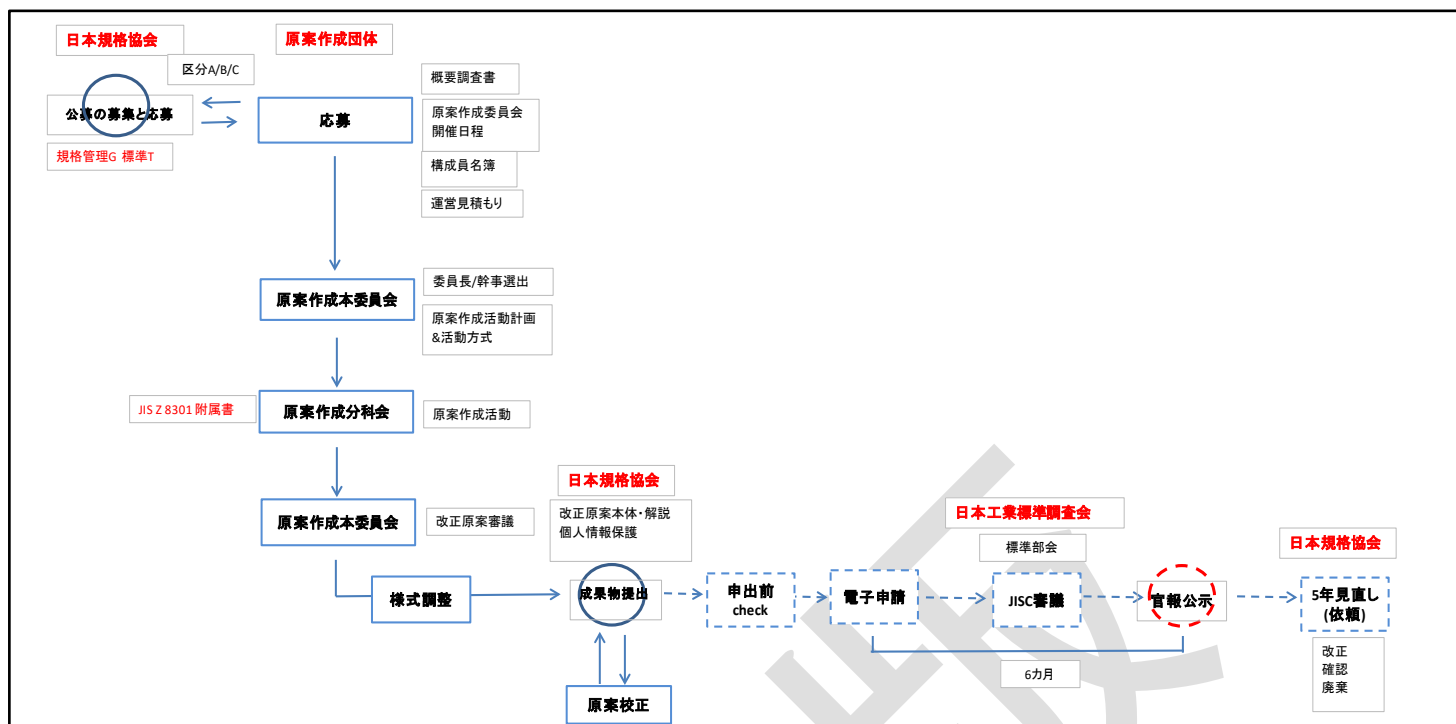
- ・ ISO/IEC/JTC1/SC28/WG5 におけるオフィスカラーワークフロー等の活動情報を収集し、意見および提案等を出しながら対応を支援する。
- ・ ISO/TC42（写真分野）/WG5（物性）/TG2&TG3 国際規格策定活動に対応する。

#### 1.1.7 紙評価標準化 WG

- ・ 新設の「紙評価標準化 WG」は、紙搬送における摩擦力のメカニズムを理解し、「MFP にとって優れた用紙の定量的な計測法」の標準化を行う。

### 1.2 JIS 原案作成委員会

JBMIA が原案作成団体として制定対応した JIS（55 件）に対して、「工業標準化法」に基づき 5 年見直しによる改正、廃止を管理、並びに新規の JIS 制定を担う。



### JIS 原案作成のフロー

以上